

# 参考資料

- 1 . 農産物・特産品を利活用した「食こだわったまちづくり」の総合的な展開方向
- 2 . 「食にこだわったまちづくり」の総合的な推進スケジュール（現時点での展開イメージ）
- 3 . 道の駅の建設コストについて
- 4 . 美唄市周辺の道の駅と主な特徴
- 5 . 食の駅基本構想策定に関するこれまでの経過

# 農産物・特産品を利活用した「食にこだわったまちづくり」の総合的な展開方向

## 地域ICT利活用モデル構築事業 (H19～H21)

### 【目的】

農産物・特産品、産業、観光、交流等に係る郷土情報を蓄積したDB(美唄ファンポータルP.I.P.a)等の活用により、本市の知名度、地域交流、業種交流、情報発信などの事業を展開し、「美唄ファン」を獲得することにより、魅力あるまちづくりの推進を図る。

### 【H21事業概要】

美唄ファンポータルサイトPIP.aの運用による郷土情報の発信及び美唄ファン獲得など  
農産物生産履歴システム等の運用やネットショッピングの携帯対応システム等の開発  
推進協議会の開催(管理運用の在り方等の検討)

- ・直売所用POSシステムの提供
- ・ネット直売システムの提供など

## 地場産品アンテナショップ運営事業 ふるさと雇用再生特別交付金活用 予定 (H21～H23)

### 【目的】

農産物・特産品などの地域資源を活用したアンテナショップを開設運営することで、地域の雇用機会を創出するとともに、消費者ニーズ等を把握し、事業の継続に向けた取り組みを行う。

### 【H21事業概要】

アンテナショップ(農産物・特産品直売所)の開設  
アンテナショップ(農産物・特産品直売所)及び  
ネット直売事業の運営  
地域ブランド商品の販路開拓

農政部・商工交流部の連携事業

- 各事業より
- ・郷土DBに係る各種情報の収集

- 地域ICTより
- ・高付加価値化支援
- ・システムの開発など

- 【連携内容】
- ・ポータルサイトの開設及び美唄ファンの獲得
- ・直売所POSシステムの開発
- ・農産物・特産品、地域資源情報等(郷土データベース)の構築
- ・食に係る人的ネットワークの構築など

## 食にこだわったまちづくり 推進事業 (H21～H24)

### 【目的】

美唄の農産物や「食」を中心とした特産品のPR・販売等を市民・関係団体等と取り組みながら、まちの活性化を図る。

### 【H21事業概要】

市民検討委員会、庁内プロジェクト会議の開催(食にこだわったまちづくりの具体的な進め方等の検討)  
食のフリーマーケットの開催  
食にこだわった体験プログラムの実施など

### 【連携内容】

- ・アンテナショップの運営(H21～H23)による消費者ニーズ、入り込み客等の測定
- ・農産物・特産品の販売及び検証
- ・運営組織の育成など

## 農産物高付加価値化推進事業 地域活性化・生活対策臨時交付金活用 予定

### 【目的】

主要農産物の高付加価値化により、地場農産物の消費拡大や地産地消を進めるとともに、農産物のブランド化を推進する。

### 【H21事業概要】

- ハスカップ生産者への苗導入事業補助
- ハスカップ加工品開発支援
- ハスカップシンポジウム(仮称)の開催及び  
啓発活動
- 米粉加工品開発支援
- 小麦粉加工品開発支援

農政部・商工交流部の連携事業

### 食の駅の整備

- ・「食」をテーマとした交流施設(食の駅)の整備

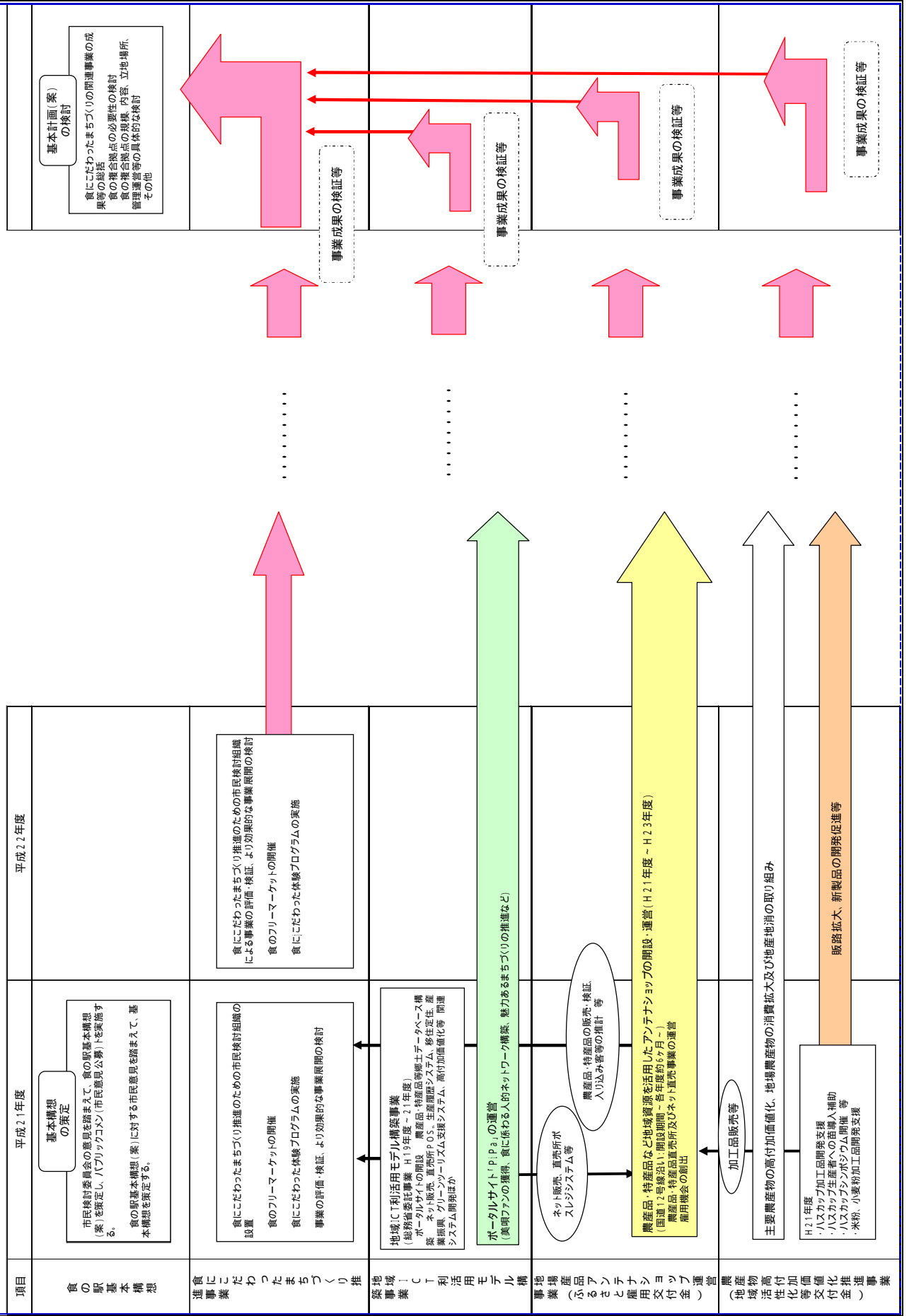
### 【連携内容】

- ・農産物のブランド化推進
- ・農産物加工品情報の集約
- ・農産物高付加価値化に係る人的ネットワークの構築など

### その他事業

- ・グリーンツーリズムや食育の促進
- ・農政部以外の関連事業との連携(観光、新産業、移住・定住等)

「食にこだわったまちづくり」の総合的な推進スケジュール(現時点での展開イメージ)  
(他事業との効果的・複合的展開方向)



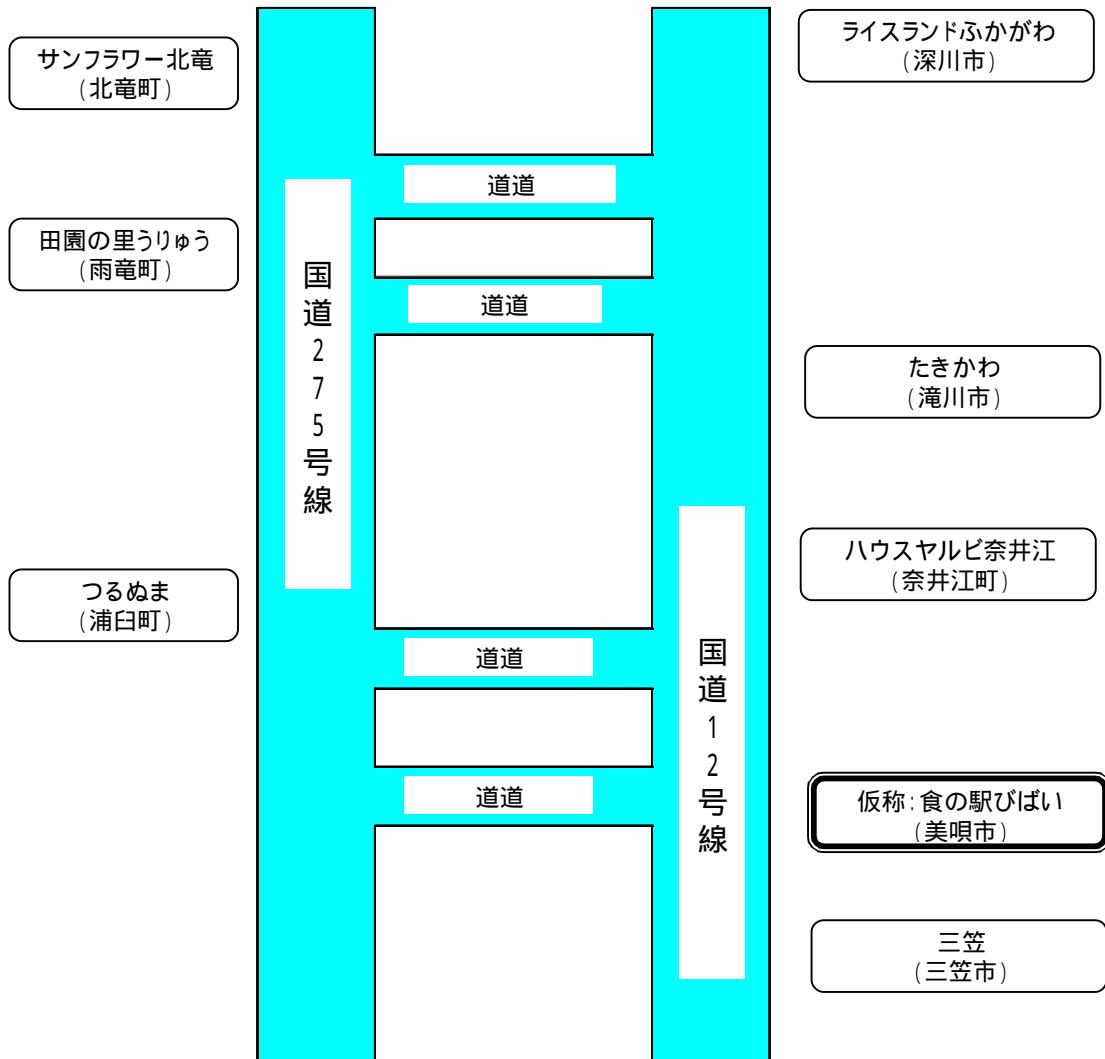
## 道の駅の建設コストについて

道の駅を新設する場合は、整備費(新たに建物・駐車場等を整備する費用で、実施設計費等を含む)のほか、用地取得費、移転補償費が別途発生する場合もある。

道の駅の建設コストについては、既存施設の改修等により道の駅を設置した事例がないことから、参考までに、新設した場合の道内道の駅の事例を記載した。

項目		敷地面積	土地代 (補償費含む)	駐車場面積及び 施設延べ床面積	建設費 (設計費等含む)
新設	A市	約8,000m <sup>2</sup>	約1億8千万円	・駐車場面積 約2,700m <sup>2</sup> ・施設延べ床面積 約850m <sup>2</sup>	約3億9千万円
	B市	約63,000m <sup>2</sup>	約1億1千万円	・駐車場面積 約8,000m <sup>2</sup> ・施設延べ床面積 約1,300m <sup>2</sup>	約3億5千万円

## 美唄市周辺の道の駅と主な特徴



項目	道の駅の名称	市町名	特徴	摘要
国道 12号線	ライスランドふかがわ	深川市	「お米」がテーマ	
	たきかわ	滝川市	ジンギスカン、あいがも	
	ハウスヤルビ奈井江	奈井江町	ログハウス、手打ちそば	
	三笠	三笠市	温泉に隣接	
	(仮称) 食の駅びばい	美唄市	美唄の食(米、ハスカップ、アスパラ、新鮮野菜、農産物加工品、焼き鳥、とりめしなど)	全市的な「食にこだわったまちづくり」の複合拠点
国道 275号線	サンフラワー北竜	北竜町	温泉、ひまわり畑に隣接	
	田園の里うりゅう	雨竜町	雨竜沼自然館	
	つるぬま	浦臼町	温泉、鶴沼公園に隣接	

食の駅基本構想策定に関するこれまでの経過	
年度	主な内容
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所内部に庁内プロジェクトを設置(11月:委員長～副市長):2回開催</li> <li>・調査検討事項、フリーマーケット実施結果、今後のスケジュールについて協議。</li> <li>・食のフリーマーケットの開催、結果等の報告。</li> <li>近隣施設の調査(サンファーム三笠、ハウスヤルピ奈井江など4施設)を実施。</li> </ul>
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内プロジェクト:3回開催</li> <li>・スポレク基本計画の位置付け、計画の推進方法の検討。</li> <li>・必要な施設や機能と候補地の評価方法についての検討。</li> <li>・アドバイザー(先進地)による勉強会の開催。</li> <li>・食のフリーマーケットの開催、結果等の報告。</li> <li>道内施設の調査(ニセコ・真狩・長沼の道の駅)を実施。</li> </ul>
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内プロジェクト:3回開催</li> <li>・構想の概要、効果等について協議・検討。</li> <li>・候補地及び概算事業費等について検討。</li> <li>・食のフリーマーケットの開催、結果等の報告。</li> <li>関連事業として、地域ICTを活用した、ブランディング研修会の開催。ピバmartにポスレジを導入し、試験運用を実施。</li> <li>道の駅の整備に向け、先進地(ニセコ・山形)からアドバイザーを招き、講演会を開催。</li> <li>市民検討委員会を設置:(6月)～農協、農業者、商工会議所等から構成</li> <li>*全体会議5回開催、部会3回開催</li> <li>(市民検討委員会の主な会議内容)</li> <li>・市の財政状況、農業情勢、交流人口等の現状説明</li> <li>・候補地の選定に係る評価方法の説明。</li> <li>・生産者及び検討委員による先進地視察(ニセコ・真狩)</li> <li>・部会(管理運営部会、施設部会、直売・加工部会)による必要な機能等を検討。</li> <li>・構想の概要(整備の必要性、必要な機能、建設候補地、事業費など)説明し、委員と意見交換。</li> </ul>
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内プロジェクト:2回開催</li> <li>・食の駅基本構想素案について、協議・検討。</li> <li>・食のフリーマーケットの開催、結果等の報告。</li> <li>他市町村の道の駅の運営状況等の調査・ヒヤリング等を実施。(管内6地区・管外2地区)</li> <li>市民検討委員会:2回開催</li> <li>・食の駅基本構想原案について、協議・意見交換。</li> </ul>
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民検討委員会:1回開催</li> <li>・食の駅基本構想原案について、協議・意見交換。</li> <li>庁内プロジェクト:1回開催</li> <li>・食の駅基本構想(案)について、協議・検討。</li> </ul>